

# 露地キュウリ栽培で発生するCMVとWMVを同時に防除できる混合ワクチン接種苗

問い合わせ先：京都府農林水産技術センター  
TEL：0771-22-0425

市販化

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

生産 品目：キュウリ

## 技術の概要

露地キュウリ栽培で被害の大きい「CMV（キュウリモザイクウイルス）」及び「WMV（スイカモザイクウイルス）」の混合ワクチンを共同研究により開発するとともに接種苗として農業資材化。化学農薬のないウイルス病の予防技術である。

- ・CMV及びWMV弱毒株濃縮汁液を接種したワクチン苗を商品化。
- ※予め弱毒株を接種した苗は同種又は近縁のウイルスに感染しなくなる。この干渉効果という現象が、ヒトや動物の免疫と似ている（干渉効果を起こす弱毒株を植物ワクチンと呼ぶ）。
- ・生産環境での残留性なし（CMV弱毒株：虫媒伝染性なし、WMV弱毒株：僅かに虫媒性）。
- ・2種混合苗に既存の「ZYMVワクチン（ズッキーニ黄斑モザイクウイルス）」を加えた3種混合苗を作成することも可能。

## 効果

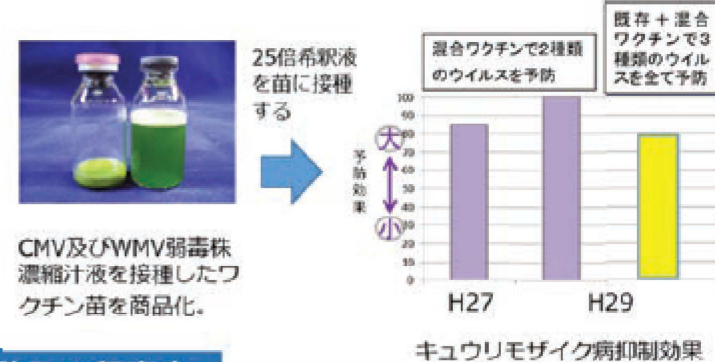
### ◎モザイク病の高い抑制効果を確認（右図）

ウイルス病の流行地域で抑制効果が得られるが、感染圧が非常に高い場合（栽培周辺でのウイルス病の激発など）、まれに防除価が下がる場合がある。（図中の平成28年長野県の場合）

### ◎化学農薬に依存しない防除

減農薬栽培による安全で安心感のある農産物の国民への提供に貢献。

※H27年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業により実施された



## 導入の留意点

- ・**CMV及びWMV以外のウイルス病には効果が無い**  
地域で発生するウイルス優占種を把握の上、CMVもしくはWMVが主な発生種の場合に利用が可能。  
なお、ZYMVについては既存のワクチン製剤等が利用可能。

## その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

- 価格帯  
販売中 220円～280円/本（ベルグアース株式会社）
- 改良・普及の状況  
全国で約40万本の接種苗（京都府4千本）
- 適応地域  
全国で利用可能



## 関連情報

平成29年度農林水産試験研究の主な成果（京都府農林水産技術センター）  
<https://www.pref.kyoto.jp/nougijyutsu/documents/h2903chijihoukokuwakuchin.pdf>